

いわて県 農業会議通信

令和7年度スローガン

地域計画の実現とブラッシュアップを進めよう!

No. 84

地域計画の実現とブラッシュアップを進めよう!

農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画が、3月までに県内全ての市町村で策定されました。地域計画の策定にあたり、農業委員会は、市町村等と協力しながら、農業者の意向把握や、目標地図の素案作成、地域での話し合いへの参画などの役割を担ってきました。実際には、意向調査票を送っても回答が返ってこない、地域で話し合いを開いても参加者が少ない、そもそも地域に担い手がいない等々、大変なご苦労があったことと思います。関係者の皆様の奮闘に対しまして、心から敬意を表します。

今後は、地域計画の実現に向けて、農地の集積・集約化を進めることとなります。農業委員会は、市町村、関係機関・団体、地域の農業者と連携を取りながら、農地の所有者等に対して、農地中間管理事業を活用した利用権設定等を積極的に促すことが求められています。

一方、策定された地域計画の内容をみると、農業者の減少が著しい中であって、将来の農地の受け手となる農業者を特定できずに今後検討するとしている農地が多い地域や、現在の耕作者を地図に落としした現況地図を目標地図としている地域も少なくありません。こうした地域では、地域の外から農業者を担い手として迎えるとか、新規就農者を呼び込むといった取組や、担い手が耕作する農地を集約していく取組が必要になります。いずれにしろ、これまでの地域計画の策定過程で実施してきた、地域での話し合い、担い手等との意見交換等を継続し、地域計画のブラッシュアップを進めることが重要となります。

こうしたことから、地域計画の実現とブラッシュアップを進めることが、令和7年度の重点となります。そして、この取組を進めることが、そのまま農地利用の最適化活動を推進することになると考えています。

今年度も、岩手県農業会議は、農業委員会の活動を強力に支援してまいります。皆さんと力を合わせて頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。(松岡憲史)



公表されている目標地図

岩手県農業会議創立70周年記念行事開催

本会は、農業・農民の利益を代表する団体として昭和29年8月16日に創設され、この度、創立70周年を迎えました。これを記念して、2月5日、サンセール盛岡で記念講演、式典ならびに祝賀会を開催し、岩手県佐々木副知事、岩手県議会飯澤副議長、岩手県農業協同組合中央会伊藤代表理事会長等の御臨席を賜るとともに、会員である農業関係団体、市町村長、市町村農業委員会会長ほか約120名の参加を得て盛会裏に終了することができました。



挨拶する杉原会長

が将来に展望をもって取り組むことができる社会の構築に向け、会員の皆様とともに歩んでまいりたい」と挨拶しました。また、創立70周年にあたり、本会の運営に功績のあった佐々木和博氏、高前田寿幸氏に本会会長から感謝状を贈呈しました。

記念講演では、(一社)全国農業会議所の植田事務局長から「これまでの農業委員会組織の歩みと今後に期待すること」と題して講演をいただきました。農業委員会組織の歴史や農業委員会における地域計画の策定の取組状況、そして、地域計画の策定作業から見てきた担い手不足の切実な問題に農業委員会組織として取り組むのか否かという問題提起がされました。

祝賀会では、岩手県町村会会長の葛巻町鈴木町長に乾杯のご発声をいただき、終始和やかな雰囲気ですべてを終えることができました。

この70周年を節目に心を新たにして、農業委員会と共に地域農業の発展と農村の振興に向け、与えられた責務と役割を果たして参りますので、今後とも、御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。

記念式典で杉原会長は「当会議の礎を築いてこられた歴代の役職員、会員、県をはじめとする関係機関・団体に感謝を申し上げます。平成27年に農業委員会法が大幅に改正され、農業委員会の公選制の廃止など農業委員会の組織体制が大きく変更された。農業会議は農業委員会法に基づく認可法人から一般社団法人に組織変更し、農業委員会のサポート組織として、地域の農業を支えるべく関係機関・団体と一丸となって取り組んでいる。これからも農業者



記念講演をする植田事務局長



乾杯のご発声をする鈴木町長

令和7年度事業計画概要

令和7年度は、地域計画の実現に向けた農業委員会の役割発揮や、所有者不明農地対策の推進、農地利用最適化活動の見える化の徹底、デジタル化による業務の効率化などの農業委員会業務が円滑に展開できるよう、農業委員会への支援活動を強化することとしています。

重点取組事項は、次の通りとなります。市町村農業委員会や農業者の期待に応えるとともに、本県農業振興の一翼を担っていただけるよう活動の一層の充実強化を図って参ります。

重点取組事項

- 1 地域計画の実現に向けた農業委員会の活動支援
- 2 遊休農地の発生防止・解消の推進と所有者不明農地対策の推進
- 3 デジタル化の推進等による農業委員会の業務効率化の支援
- 4 新規就農者の確保・育成と担い手経営体に対する支援
- 5 業務推進のための事務局体制の強化

※事業計画は、当会ホームページ（www.iwate-ca.or.jp）に掲示しております。

農業委員会等表彰受賞

令和6年度農業委員会等表彰において、奥州市農業委員会前会長阿部恒久さんが受賞されました。

農業委員会等表彰は、農地等の利用の最適化の推進に関し他の範となる顕著な功績があった農業委員及び農地利用最適化推進委員を国が表彰するものです。

2月5日に開催した市町村農業委員会会長・事務局長会議・研修会に併せて、農林水産省 東北農政局 岩手県拠点 島尾武文地方参事官から賞状の伝達が行われました。

受賞された阿部恒久様、おめでとうございます。お疲れ様でした。



阿部恒久氏(左)と杉原会長

令和6年度経営戦略セミナー開催

本会と岩手県農業法人協会（照井勝也会長＝㈱西部開発農産代表取締役社長）は、持続可能な農業経営に資するため、経営戦略セミナーを1月27日盛岡市内で開催し、農業法人の経営者など約100人が参加しました。

農業法人協会会員の㈱耕野（花巻市）の安藤誠二氏は「農福連携が生み出す可能性」と題し、障がい者の就労を受入れるきっかけや、働きやすい環境を整えるための工夫について、発表しました。

講演では、東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授の鈴木宣弘氏を講師に招き「日本農業の未来像～農業法人への期待と中山間対策～」と題した講演をいただきました。ユーモアを交えたトークで会場を笑いに包みながら、食料安全保障の重要性を説くとともに、本日参加の皆さんが日本の食料供給を担っていくようにとの激励がありました。

来場者からは、「食料問題を考えさせられた」、「地域農業が続くよう努力したい」など、感想が寄せられました。



経営戦略セミナーで講演する鈴木氏

農業委員の活動紹介

住田町農業委員会

いわてポラーノの会理事の多田まり子農業委員は、令和6年12月9日(月)、住田町役場町民ホールにおいて、『令和6年度 気仙地区女性農業委員・推進委員研修会』を開催しました。

この研修会は、大船渡市、陸前高田市、住田町の各農業委員会に所属する女性委員の活動強化と親睦を深めることを目的に、いわてポラーノの会と気仙地方農政連絡会（会長 松田秀樹）及び全国農業新聞の活動支援を受けて開いたものです。

研修会には、関係者ら約20人が参加し、県の職員を講師に、地域計画の取り組みや課題について受講しました。

続いて、住田町内で野菜苗などの生産に取り組む佐々木園芸代表佐々木信一氏を講師に、花の寄せ植えを体験。色とりどりのポット花の中からお気に入りの花を選んで鉢に移植し、自分だけのオリジナル鉢花を完成させました。

最後に、昼食を囲みながら情報交換会を行い、多田まり子委員から「日々忙しく働く女性委員の方々が、花に触れ、癒しの時間を感じていただければ何よりです。」と声かけられました。



オリジナル鉢花を前に記念撮影

農業委員会の活動紹介

岩泉町農業委員会

岩泉町農業委員会（合砂哲夫会長、農業委員6名、農地利用最適化推進委員12名）は、2月13日に行われた宮古地方農業委員会協議会主催の視察研修に参加しました。

視察研修では、陸前高田市にあるワタミオーガニックランドを見学し、施設整備のきっかけから現在までの取り組みを学びました。

施設のある場所は2011年3月11日に発生した東日本大震災の津波による浸水被害を受けた旧市街地エリアでしたが、現在は嵩上げが完了し整備が進んでいます。

施設は整備の途中で、完成に向けて少しずつ敷地や施設を拡張していますが、必要最小限の資材と労力で広げているとの説明を受けました。

視察研修で得られた情報を活かし、引き続き農地利用の最適化を推進していきます。



ワタミオーガニックランドについての説明を熱心に聞く参加者



省力化のブドウ栽培を視察

女性農業委員・農地利用最適化推進委員活動研修会を開催

2月6日、盛岡市内で、農業委員会活動における女性の活躍を促進し、男女共同参画による委員会活動に資するため、女性農業委員・農地利用最適化推進委員活動研修会を開催しました。オンライン参加含め約90人が参加しました。

活動事例発表では、岩手町農業委員会会長・福士好子氏から、家族経営協定の推進にあたっては、子供の就農、結婚、経営継承など、それぞれの農家の節目を見て勧めることが大切であること、農業者年金と併せて提案していることを紹介していただきました。

また、住田町農業委員多田まり子氏からは、沿岸広域振興局職員を講師に、大船渡地区の地域計画に関する講演会を開催したこと、奥州市農業委員岩淵壽子氏からは、経営する果樹園のりんご狩り体験を通して、女性委員と地域住民が交流を行ったことなどが発表されました。なお、岩淵委員は、これまでの農業者育成の活動が認められ、夫の勝治氏と共に大日本農会の令和6年度農事功績者表彰を受けています。

講演では、合同会社山藤農園（盛岡市）の山本早苗氏から「ワークライフ・バランスを重視した雇用の創出」と題した講演をいただきました。育児と仕事に追われている時に、地域の先輩から『人生は長い。その中で、自分と家族のために時間を使うのはとても大切で尊いものよ。子供が大きくなってからだって、いろんなことができる。今はその時じゃないだけよ。』という言葉をかけられたことが紹介され、多くの参加者が感銘を受けました。



営業職の経験を活かし、歯切れ良いテンポで講演を行う山本氏

令和7年度農業者年金加入推進の取り組みについて

（一社）岩手県農業会議と岩手県農業協同組合中央会は、（独）農業者年金基金が示した加入推進目標を受けて、令和7年度の農業者年金加入推進取組方針を策定しました。

7年度の新規加入目標は、岩手県全体で78人、うち若年層（20～39歳）は49人、女性は39人です。

加入推進目標	令和7年度	令和6年度
岩手県	78人	81人
若年層(20～39歳)	49人	51人
女性	39人	39人

今年度も、若年層（20～39歳）、女性が推進の重点対象になります。

加入推進名簿を更新し、その中から本年度の加入推進対象者を選定した上で、加入推進部長の陣頭指揮の下、戸別訪問を柱とする加入推進活動を展開していただき、目標達成に向けた取り組みをよろしくをお願いします。

また、農業者年金制度は、現行制度となってから24年目を迎えましたが、依然として制度を知らない農業者もいることから、あらゆる機会を捉えて啓発普及活動をお願いします。

全国農業新聞普及ニュース

令和7年度は、普及目標を3,200部以上とし、以下の重点取組事項を柱に普及推進してまいります。

引き続き、市町村農業委員会会長の陣頭指揮の下、農業委員・農地利用最適化推進委員、事務局一丸となった普及推進をお願いします。

【重点取組事項】

- 農業委員及び農地利用最適化推進委員の皆購読、退任委員の継続の徹底
- 農業委員及び農地利用最適化推進委員1人月1回以上の声かけ活動の励行と年間新たに1人1部の新規購読の確保

☆全国農業新聞表彰・第31回「農業委員会だより」全国コンクールの受賞委員会が決定しましたのでお知らせします。表彰される農業委員会の皆様おめでとうございます。

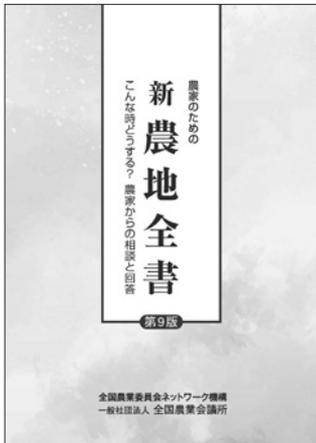
○全国農業新聞表彰

- ・普及拡張特別優秀農業委員会 普及部数の部 全国第10位
奥州市農業委員会
- ・全国農業新聞活動表彰 優秀農業委員会賞
花巻市農業委員会、遠野市農業委員会、一関市農業委員会、奥州市農業委員会

○第31回「農業委員会だより」全国コンクール

- ・全国農業新聞賞
金ヶ崎町農業委員会

全国農業図書新刊案内



農家のための新農地全書～こんな時どうする？農家からの相談と回答～

売買、貸借や転用、相続・贈与など多岐にわたる農地相談に対応するには、農地法や基盤法、中間管理事業法、農振法だけでなく、民法、都市計画法、国土法など様々な制度に関する知識が必要です。

本書は、これら農地に関する様々な相談を問答形式で分かりやすくまとめた一冊であり、昭和47年以来のロングセラーとなっています。農業委員会の窓口のほか、農業委員や農地利用最適化推進委員など、地域リーダーの皆さんが農家相談にあたっての座右の書としてご活用下さい。

図書コード：R06-33 A5判・約219頁 定価2,860円 税込・送料別



新訂 農業委員のための和解の仲介の手引～農地紛争処理のために～

和解の仲介制度は昭和54年に制度化されて以来、農地等の利用関係をめぐる紛争を簡単な手続きで事案の実情に即した柔軟で妥当な解決を図るという大きな役割を果たしてきました。

和解の仲介を行う上で必要となる制度内容や手続のあらまし、説得の仕方、和解案の作成方法などについて整理した手引書です。

(目次) はじめに／第1章 和解の仲介制度／第2章 仲介委員／

第3章 仲介手続のあらまし／第4章 和解案の作成／第5章 資料編

図書コード：R06-28 A5判・約108頁 定価4,400円 税込・送料別

お申し込みは 一般社団法人岩手県農業会議へ TEL：019-626-8545 FAX：019-629-9210

編集・発行人／事務局長・松岡憲史 〒020-0884 盛岡市神明町7番5号(パルソビル4階) 電話019-626-8545 印刷／株式会社興版社